

を十分にくみとること。このことが学習意欲を高める手だての出発点となろう。

② 「学習意欲を高める心理的治療」の考えを日常実践すること。

○ 学級担任が児童生徒一人一人の学習意欲の実態に基づき、適切な心理的治療の仮説を立て、日常実践することが強く望まれる。

主な参考図書

- 東京学芸大学紀要 第34集
- カウンセリングの進め方=ライフ・サイエンス・センター
- 処遇技術 =大阪矯正管区
- 問題行動 =日本文化科学社
- ロール・プレイングの手引=誠信書房
- 箱庭療法入門=誠信書房
- カルフ箱庭療法=誠信書房
- ロール・プレイング=ミネルヴァ書房
- 児童理解とその指導=教育出版
- カウンセリングのすすめ方=有斐閣
- 行動療法 =福村出版
- エゴグラム=創元社

研究プロジェクトメンバー

折笠 仙衛	坂本 善一	鳴原 弥	野村 忠之
海野 和夫	安倍 治男	佐久間 益郎	高石 寛治
須永 英次	石田 威	松本 喜男	安部 哲夫
田中 四郎	○佐藤 晃暢	○小川 兼太郎	○五十嵐 昭義 (○印は前部員)

研究協力校 福島市立鎌田小学校 渡辺 浩右 古関 義子 早坂 弘美
及び協力員 福島市立福島第三中学校 山田 崇 平山 智子